

第一支部

第一支部報告

ア. 28年度第3回勉強会

(ア) 日時：平成29年2月16日(木) 19:00～20:50

(イ) 会場：コムナーレ浦和 15集会室

(ウ) 参加人数：35人

(エ) 内容：

I. 28年度会計報告 地区理事 双木邦博

II. メーカー講演 19:10～

『RSNA2016 報告 ～これからのCT開発における方向性～』

シーメンスヘルスケア株式会社 CT事業部 吉田 博和

II. 一般講演 19:40～

『結核感染の対処と様々な結核画像』

さいたま市立病院 双木 邦博

III. 特別講演 20:10～

『DRLを知り撮影線量最適化を図ろう!』

公益社団法人埼玉県診療放射線技師会 公益委員

済生会川口総合病院 志藤 正和

イ. 平成28年度第2回役員会

(ア) 日時：平成29年3月17日(土)

(イ) 会場：JCHO 埼玉メディカルセンター

(ウ) 出席人数：12人

(エ) 内容：来年度計画について

ウ. Dual-energy CT セミナー 2017 (第1,2,5,6支部合同勉強会)

(ア) 日時：平成29年3月18日(土) 10:30～

(イ) 場所：浦和コルソコミュニティプラザ

(ウ) 参加人数：112人

第二支部

第二支部会からのお知らせ

平成 28 年度第二支部事業総括

所沢ハートセンター 柴 俊幸

現在、平成 28 年 3 月 27 日（月）。暦の上でも立春がすぎ、カレンダーのイラストも春めかしいものも多く見受けられますが、年度の変わり目とは思えないほどの寒い日が続いております。

さて、第二支部は 2017 年 3 月 18 日に開催された「Dual-Energy CT セミナー 2017」をもって平成 28 年度の事業が全て終了となりました。本誌においても開催報告を掲載させていただいたとおり今年度は定期勉強会に加え（第六回は悪天候で中止となりましたが…）、循環器 CT セミナー 2016 から始まり、熊谷での支部合同勉強会、骨軟部撮影セミナー 2017、Dual-Energy CT セミナー 2017 と、過去最多の勉強会・セミナーの開催となったのではないかと思います。内容についてもそれぞれ特色があり、勉強会ごとに初見の参加者も多く見受けられお褒めの言葉もたくさんいただき、本当に心の底から「やりがい」というものを実感できた年でありました。これらの勉強会が開催できたのもひとえにご協力いただいた埼玉県診療放射線技師会の役員の方々、支部理事、そして思いに賛同していただいた実行委員の方々のおかげであり、この場を借りて厚く、そして熱くお礼申し上げます。

ここからは私の独り言となりますが、勉強会の開催に当たり、メインテーマやセッション内容、そして集客力というものは成功のためにとっても重要であります。しかし、私が一番大切にしているのは、陽の当たらない役目を引き受けていただいた実行委員への協力と感謝であります。事前の会計収支の計算や領収証の作成、寒い（暑い）中でセッションも聞けずに行う受け付け業務、大人数とお店での板挟みに合いながら何ヵ月も前から準備し、とりまとめていただいた懇親会の担当者、複数のメーカーさんを相手に機器展示をとりまとめてくれる委員の方など、本会だけでは見えない働きをしていただいた方がたくさんいらっしゃいます。そして、そのような仕事を引き受けていただくのはこれからの技師会を担う若手の技師であることが多いと思います。勉強ごかりの年代でありながら、運営のためにと裏方を引き受けた実行委員がたくさんいらっしゃいます。これからの勉強会やセミナーに参加される際にはぜひこのような方たちに一言「ありがとう」「お疲れさま」と声を掛けてください。この一言がこれからの埼玉の礎を築くことになると思います。

来年度からも第二支部は他支部と協力しながら精力的に活動していくと思います。隣に協力してくれる誰かがいることが当たり前だと思わずに、常に思いやりと感謝を持って活動していただくことで学術的なレベルの高さに加え、温かさの伝わる埼玉県診療放射線技師会になるのではないかと思います。今後ともご協力のほどよろしくお願い致します。

第三支部



第三支部理事 渡部 進一

謹啓

春暖の候、会員の皆さまにおかれましてはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、3月17日(金)に開催されました、平成28年度定時総会・三支部勉強会におきましては、ご多忙のところ多くの方々にお集まりいただき誠にとお礼申し上げます。お陰をもちまして、当日の定時総会、勉強会ともに無事終了することができ、平成28年度事業予定を全て完了することができました。第三地区・支部事業の運営に際しましては、会員の皆さまより多大なお力添えをいただき、心より感謝しております。また、今回の役員改選により第三支部代表の任を退くことと相成りました。3年間の任期中には、皆さまからの温かいご支援、お引き立てを賜りましたことを心より感謝申し上げます。

今後は埼玉医科大学国際医療センター所属の山岸正和氏が第三支部代表を務める事になりましたので会員の皆さまには何卒、倍旧のご支援とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

敬白

【報告事項】

(1) 第30回 川越市健康まつり

- ア. 開催日時：平成28年12月11日(日) 10:00~15:00
- イ. 開催会場：川越駅西口 ウェスタ川越 多目的ホール
- ウ. 参加人数：9人(地区役員) 来場者 約350人
- エ. 内 容：「あなたのための医療画像展」を開催。



川越市 健康まつりにて

(2) 第三地区 新年会

- ア. 開催日時：平成29年1月28日(土) 19:30~21:30
- イ. 開催会場：函館海や (川越店) 埼玉県川越市脇田町7-1 鳥熊ビル2F
- ウ. 参加人数：30人



第三地区 新年会の様子

(3) 第5回 第三支部役員会

- ア. 開催日時：平成 29 年 2 月 20 日（月） 19:30～21:30
- イ. 開催会場：ウエスタ川越 予定
- ウ. 参加人数：6 人
- エ. 内 容：平成 29 年度事業計画・地区総会について

(4) 平成 28 年度 第三支部・地区定時総会

- ア. 開催日時：平成 29 年 3 月 17 日（金）19:00～19:30
- イ. 開催会場：ウエスタ川越 第 1 会議室
- ウ. 参加人数：23 人（委任状 150 通）
- エ. 内容：定期総会審議事項
 - 審議-1：平成 28 年度事業報告__審議結果：承認
 - 審議-2：平成 28 年度決算報告__審議結果：承認
 - 審議-3：平成 29 年度事業計画案__審議結果：承認
 - 審議-4：平成 29 年度予算案について__審議結果：承認
 - 審議-5：平成 29 年度役員改選__審議結果：承認

- ・地区代表幹事：山岸 正和（埼玉医科大学国際医療センター）
- ・副代表幹事：森下 勝（埼玉医科大学国際医療センター）
- ・会計幹事：中田 智仁（埼玉医科大学国際医療センター）
- ・会計監査：今井 昇（旭ヶ丘病院）
- ・幹 事：佐藤 正彦（埼玉医科大学総合医療センター）
- ・幹 事：轟 圭介（埼玉医科大学総合医療センター）
- ・幹 事：市川 隆史（埼玉医科大学病院）
- ・幹 事：橋本 利恵子（埼玉医科大学病院）

(5) 第3回 第三支部勉強会

ア. 開催日時：平成 29 年 3 月 17 日（金）19:30～21:00

イ. 開催会場：ウエスタ川越 第1会議室

ウ. 参加人数：28 人

エ. 内 容：

(ア) メーカー講演

「タブレット端末の導入と病院全体の情報共有強化」

～メッセージャーがコミュニケーションを変える今企業のコミュニケーション変革とは～

菱洋エレクトロ株式会社 ICT 営業第二本部 マーケティング部

志村 幸洋 氏

(イ) 特別講演

「DR Lを知り撮影線量最適化を図ろう！」

医療法人社団愛友会 上尾中央総合病院 放射線技術科主任

公益社団法人 埼玉県診療放射線技師会 常務理事（公益）

佐々木 健 氏

第三支部ホームページ

<http://saitama3shibu.jimdo.com/>

第四支部

ぶらり第四支部の旅 Vol. 3

第四支部 齋藤 幸夫・萩原 貴之

今回のぶらりは鴻巣市です。第四支部の中では南に位置し、くくりとしては「県南」に属していると鴻巣市民は思っています。おいおい、萩ちゃん、四支部って鴻巣市も入るの?! 広いなあ～。

無知な私にごめんなさい、脱線したので話をもどしましょう!

鉄道はJR高崎線が通っていて、最寄り駅はJR鴻巣駅、JR北鴻巣駅、JR吹上駅です。セミナーなどで大宮に行くことが多いですが、JR鴻巣駅からJR大宮駅までは約20分とそこそこの時間で行くことができます。第四支部中心の熊谷市にもそこそこの時間で行けるので便利です。そんな鴻巣市といえば、免許センターがある場所として、車を運転する方であれば一度は訪れているのではないのでしょうか。他の支部の方にすると「何て遠い免許センターだ」という声が聞こえてきそうです。

市のキャッチフレーズは「ひな人形と花のまち こうのす」です。毎年、2月～3月初旬に「鴻巣びっくりひな祭り」が行われます。ひな人形で飾る日本一高いピラミッドひな壇が鴻巣市役所に登場し、何度見てもその大きさに度肝を抜かれます。まだご覧になってない方はお勧めします。

また鴻巣市には日本一があります。それは「川幅日本一」です。鴻巣市と吉見町の間を流れる荒川の川幅が2537mで日本一ということです。その「川幅日本一」にあやかって鴻巣市ではいろいろな「川幅」グルメがあります。川幅うどんをはじめ、川幅ラーメン、川幅海鮮丼、川幅せんべいなどもあるようです。要は幅の広いグルメということです。

私はその中でも、川幅うどんを食べ比べしてみました。お店によって川幅うどんでも全然違います。

麺の幅の太さも店によってそれぞれですが約7～8cmです。あまりの太さに「これで本当にうどんか?」というものもあります。また店によっては食べやすいようにナイフとフォークも一緒についています。お店のご主人に話を聞いたら普通のうどんと小麦粉の量は変わらないとのことでした。しかし、食べてみるとなぜか普通のうどんよりお腹が満腹になったような気がします。見た目のせいでしょうか? ホームページには「川幅グルメマップ」も載っています。まだ食べたことがない方はぜひ一度ご賞味ください。

さて、次は何処を紹介しようかなあ～

第四支部のぶらり旅は、つ・づ・く



川幅うどん 約7～8cm



色々なお店で食べ比べるのもオススメです

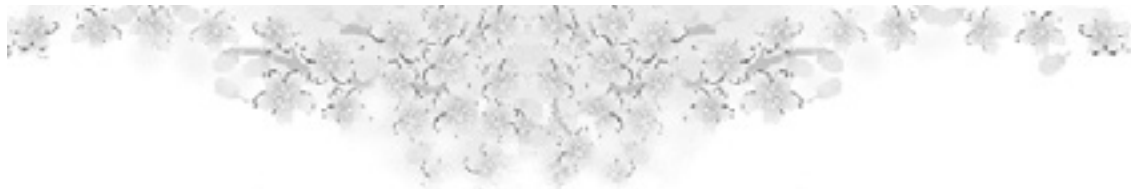


日本一高いピラミッドひな壇



「川幅日本一」鴻巣市

第五支部



第五支部

情報交換会

場所：春日部市民活動センター〔ふれあいキューブ〕

5月25日 19:00～(予定)

6月22日 19:00～(予定)

詳しくはSARTのHPなどのご案内致します。
(気軽にご来場していただいてご意見などお伺いできれば幸いです)

テーマなど皆様のご意見をお待ちしています。

ご参加ご協力をお願い致します。



第五支部理事 矢崎 (i-yazaki@sart.jp)



情報交換会以外でもご意見ご提案があれば気軽にご連絡ください

支部の活動にご協力いただける方からのご連絡お待ちしております。

下記でもご案内をしております。

<http://sart-daigoshibu.jimdo.com/>



第六支部

埼玉県診療放射線技師会

第六支部

- 1.巻頭言 秋谷 龍一郎
- 2.平成 28 年度 定期総会資料
- 3.平成 28 年度 第 3 回定期講習会報告
- 4.平成 29 年度 第 1 回定期講習会案内
- 5.旧役員 退任挨拶

巻頭言

知恵と経験

大宮中央総合病院

秋谷 龍一郎

今まで経験したことのない問題や出来事に遭遇した時に、「以前体験した事象と似ている」と感じたことがある人は少なからずいるだろう。過去のケースであった問題に近いものを参考にして、今回も同様のアプローチ、または少し違った角度からのアプローチを駆使して解決できるのではないだろうか。そして自分自身の経験の中でベストであろう選択をしていく。その経験が問題の所在と解決の方法を高い確率で推測することができる。

仕事上で何らかの予想外のケースが起きた場合に、過去の経験や蓄積した知識に照らし合わせて、同じ事象や類似のケースを見つけ出し解決にあたらなければならない。この作業はその人の経験や知識の総量が多いほど簡単なものになり、精度も高く、スピードも速くなる。きちんとした仕事ができる総合的な仕事力をつけるためには、やはり豊富な経験と幅広い知識が必要になってくる。

ただし、ここでいう知識とは単に書物を丸暗記しただけのものではない。知識というものは、それを簡略化していつでも使えて行動に移せる「知恵」にしてこそ意味がある。知識の本質を理解してこそ、知恵を身に付けることができる。その知恵を身に付けるということは言われたことだけをただやるのではなく、言われたその先まで自分で考え、理解していこうと努めることにあるのではないか。

例えば、何かの問題が起きたときに、教えてもらった通りやっとうまく対応できたとする。それでよしとする人はいつまでも知識止まりだ。しかし、知識を知恵に変えていける人は必ずその先まで考える。なぜ問題が起きたか、どうすれば防げるのか、派生する問題は何か、もっと良いアプローチの方法があるのではないか、など「なぜ」を繰り返し物事の本質に迫ろうとする。知恵を会得するということは、常に問題意識をもって向上していこうとする意識の高さである。

何事にも「もうできる！もう分かった！」と自分自身で思い込みをする前にきちんと物事の本質を見極めて、理解を深めていくことに努めなければならない。そしてきちんとした知恵にして経験を積み重ねて行かなければならない。

平成 28 年度 埼玉県診療放射線技師会第六支部定期総会報告

第六支部理事 高嶋 豊

去る 2 月 23 日（木）に、公益社団法人埼玉県診療放射線技師会第六支部定期総会が行われ、総会は無事終了致しました。お忙しい中多くの出席者および委任状ありがとうございました。

また、役員選挙により来期第六支部会長が変更になります。

平成 29 年度、30 年度第六支部会長 埼玉県立小児医療センター山口 明となります。平成 29 年度は新しい役員体制となり、会員の皆さまにはご協力とともに、ご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

平成 28 年度 埼玉県診療放射線技師会第六支部 総会議事録

1. 日時 平成 29 年 2 月 23 日（木）

19 時 00 分～19 時 30 分

2. 場所 指扇病院

3. 会員数 273 人

4. 出席者 38 人

委任状提出者 155 人

合計 193 人

5. 開会

6. 会長挨拶

7. 議長選出・書記任命

大宮中央総合病院川久保彰人氏選出、書記に埼玉県立がんセンター桂慎也氏、指扇病院藤川真帆氏が選出された。

8. 議事事項

・平成 28 年度事業報告

・平成 28 年度決算報告

・監査報告

事業監査報告

会計監査報告

・平成 29 年度事業計画案

・平成 29 年度予算案

・その他

9. 議事の経過

総会出席者の審査の結果、本総会は成立する旨、報告された。

平成 28 年度事業報告を高嶋会長が報告。

平成 28 年度決算報告を徳田会計が報告。監査報告は濱守誠氏、尾形智幸氏により、事業が適正に行われた。また、収支共に会務・事業に対し健全に行われていると認める旨を報告した。議長は以上の議事について順次に賛否を諮り、全員異議なく承認された。

平成 29 年度事業報告案を高嶋会長が説明。平成 29 年度予算案を徳田会計が説明。議長はこれらの案について順次に賛否を諮り、全員異議なく承認された。

10. 役員選挙

指扇病院石川氏より、現副会長の埼玉県立小児医療センター山口明氏を推薦賛否を諮り、全員異議なく、平成 29、30 年度第六支部会長は山口明氏に承認された。

11. 閉会

以上のおり議事が進行されたことを報告致します。

平成 29 年 3 月 16 日（木）

指扇病院 仙波亮

平成 28 年度 第 3 回定期講習会報告

埼玉県立小児医療センター 春日沙織

埼玉県診療放射線技師会第六支部の第3回定期講習会が、平成29年2月23日に指扇病院で開催され、参加人数は47人でありました。今回の講習会は、メインテーマを「骨盤部 MRI 検査の基礎」とし、上尾中央総合病院の渋江英美香氏に「子宮卵巣 MRI」について、埼玉県立がんセンターの山内辰雄氏に「骨盤部（消化管・前立腺・膀胱）MRI」についてご講演いただきました。

渋江氏の講演では、子宮卵巣の解剖や疾患についての説明、撮像時の工夫・ポイントなどを解説していただきました。「この疾患は T1 強調画像ではこう見える、T2 強調画像ではこう見える」というような説明を細かくしていただき、まだ MRI を始めたばかりの新人・若手でもすぐに臨床の場で生かせるような内容でありました。またモーションアーチファクト対策についても、それぞれの方法の特徴、使い分けのポイントをお話ししていただき、子宮卵巣 MRI 以外の検査にも役立つ知識も豊富に盛り込まれた講演でした。

山内氏の講演では、主に消化管についての解剖、症例紹介をしていただきました。知識量が大変豊富で、大腸の解剖について押さえておくべきポイントや、大腸癌の局所評価・手術方式までお話ししてくださいました。消化管 MRI に関する多くの症例を取り扱い、実際の画像を提示して詳しく解説していただきました。MRI 検査は、事前に疾患に関する知識や解剖、撮像するときに見なくてはならないポイントなどをしっかりと押さえた上で検査をすることが重要であると、改めて感じる事ができる講演でありました。

また今回、講習会後にアンケートを取らせていただきました。参加者の皆さまからの率直な意見・感想や、今後のテーマについての希望などを伺うことができましたので、ここで得られた結果を今後の講習会の参考にさせていただきます。アンケートにご協力いただいた参加者の皆さま、ありがとうございました。

いずれの講演内容も当センターでは見ることのない症例ばかりで、大変勉強になりました。新人・若手は特に「MRI は難しい」というイメージを持ちやすいように思いますが、今後も第六支部の定期講習会は、誰もが気軽に足を運んでくれるような講習会をテーマにして開催していく予定です。今回は骨盤部に限定した MRI 検査の講習会となりましたが、今後また機会があれば他部位の MRI 検査の基礎についての講習会もぜひ開催したいと考えています。

最後にこの場をお借りして、ご講演いただいた演者の方々と、企画協力してもらった第六支部役員各位に深く感謝申し上げます。

第六支部役員退任挨拶

・丸山記念総合病院 高嶋 豊

支部会長職を通じて、たくさんの方のことを学ばせていただきました。臨床現場では経験できないような人との関わり、また多くの方の医療に対する考え方などたくさんの方のことを学べる良い機会でした。そして、多くの面から一つのことを見ると、当たり前のようなことが必要とされる場面がたくさんありました。

3月を迎え、退職や卒業式など新たな環境へ移られる方も多い時期かと思えます。新しい環境での人間関係や経験も一から作りださなければなりません。新たな環境へ飛び出すことは不安や希望などが入り混じりますが、心を成長させるためのチャンスでもあると考えます。そういう時こそ、人の思いやりや優しさを敏感に感じ取ることができるのではないかと感じます。そして人とのつながりや相手を思いやる気持ちの大切さに気付くことのできる良い機会だと思います。

これからはますますIT社会が進み、AIとの共存がなされてきます。医療現場におきましてもAIの進歩はめまぐるしく、機械に任せることが多くなっていくと思えます。そんな中で、心の成長、人に対する思いやりをおろそかにしてはいけないと感じます。これは医療の臨床現場でも、また人とのつながりの間においてもとても重要なことです。どんなにIT社会が進んでもAIが増えても最後に人を動かすのは人の心です。心を育てるのは並大抵のことではありません。大人になった現在でも人に対する感情や思いやりを学ぶことがたくさんあります。日々の臨床現場でも多くの患者さまと接する機会があります。業務に追われ、人に対する対応をおろそかにしないよう心掛けていこうと思っています。

このたびは支部会長という貴重な経験をさせていただきましたことを感謝申し上げます。また、数年間の役員活動時、私を支えてくださった皆さま方にも心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

・指扇病院 仙波亮

総務として3年間、広報として3年間務めさせていただきました。会長をはじめ、役員の方々に支えていただき、無事に任期を全うすることができました。また第六支部には、院内では得ることのできない貴重な経験をさせていただき、大変感謝しております。

今後はさまざまな行事への参加という形で、第六支部へ貢献させていただきたいと考えております。6年間ありがとうございました。

・ JCHO さいたま北部医療センター 竹内 信行

JCHO さいたま北部医療センターの竹内です。3月をもって第六支部役員を退任させていただく事になりました。任期の間たくさんの技師の方々と接する機会があり他施設での撮影方法やその苦労話など多くの事を聞き、自分の施設に何かフィードバックさせることはないかと考えながら努めてきました。恥ずかしながら第六支部に貢献できたことは少ないですが、これまで役員と共に務めてきた方々には大変感謝しています、ありがとうございました。これからも第六支部の発展を陰ながら応援させていただきます。

・ 埼玉県立がんセンター 辻村 明日香

埼玉県立がんセンターの辻村です。この3月で六支部役員を退任させていただくこととなりました。気付けば丸7年、学術、総務、編集とやらせていただきました。何年たっても必死に他の皆さまについていくばかりでしたが、色々と交流ができ非常にやりがいがありました。これからは一会員として今後の六支部の勉強会などに参加していきたいと思っております。今までありがとうございました。